



すずしろくん



勝山高校蒜山校地 学校新聞

# ひるこう タイムズ

第207号 R3. 2. 25  
毎月25日発行  
勝山高校蒜山校地 教務課  
katuyama-hiruzen@pref.okayama.jp

☆ひるこうタイムズ記者  
(取材・記事の執筆・撮影)

1年生：R・T  
2年生：M・M  
3年生：A・I・M・K・Y・N  
蒜山ABC部(文化部)

☆は生徒が、○は教員が書いた記事です。

## 2・3月の日程

- ☆2月
  - 25日(木) 学年末考査 (1・2年、～3/2)
  - 26日(金) 登校日(3年)
  - 28日(日) 英検2次
- ☆3月
  - 2日(火) 登校日(3年)  
同窓会入会式(3年)  
学校賞表彰(3年)  
卒業式予行
  - 3日(水) 卒業式
  - 4日(木) 臨時生徒総会
  - 5日(金) 10分短縮授業
  - 8日(月) 家庭学習日(～3/10)
  - 16日(火) インターンシップ(1年)  
(～3/18)
  - 17日(水) スカウトウツペー来校日
  - 19日(金) 終業式

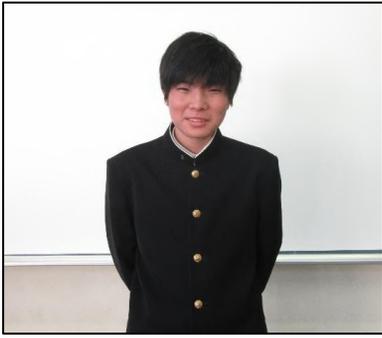
### ☆スキー部にインタビュー!!

- ①今期出場した大会の感想
- ②スキーをやって良かったこと
- ③スキーで学んだこと
- ④大会で全力を出すためにはどのような事をしていくか



高柳侑希くん(2年)

- ① 吹雪が凄くて前が見えない中、勇気を出して急斜面に突っ込んで満足いく記録になりました。また、中国大会はあいにくの雨で調整が難しく、一本目をなんとか完走して、2本目は記録を目指して突っ込みました。
- ② 非日常感や景色を味わえることです。努力すると報われるということです。
- ③ 板のメンテナンスを日頃からする事と、スタート前の精神統一です。



### ☆今年の蒜山の冬は...

今年は、去年と比べ、降雪量が多く、蒜山の冬らしい風景を見ることができました。久しぶりの雪に気分が上がり、雪だるまやかまくらを作ったり、雪合戦をしたりして遊ぶ生徒の姿が見られました。また、先生たちも朝早くから生徒のために雪かきをしてくれました。

3年生の地域創造コースの生徒はスポーツVIの授業で雪合戦をしました。普通の雪合戦とは違い、壁をつくり攻防をしました。初めての本格的な雪合戦でしたが、自分たちで一から壁を作ったり、戦略を考えたりして、とても楽しい時間になりました。



### ☆すいとん作り

1年生は、総合的な探究の時間で制作していたスイートンが完成しました。木材や、色などは全てそれぞれが選んで作りました。そのため一人ひとりの個性が現れた、良い仕上がりになっただと思います。皮を削ったりペンを塗ったりと、普段あまりすることのない作業に苦労しましたが、全員が最後までやり遂げることができました。



### ☆料理講習会

2月17日(水)にジャージーランドから美甘孝浩さんに来ていただき、ミートクリームのペンネとシユークリームを指導していただきました。実習を終えた2年家庭コース生徒にインタビューしました。

「いつもとは違う雰囲気での実習で緊張しましたが、現役シェフの方のレシピで地元の食材を使って作る料理は、やりがいを感じました。指導して下さる時の手際が良くて、やはりプロだなとしみじみと思いました。教えてくださったレシピで家族に料理を振る舞いたいと思います。」



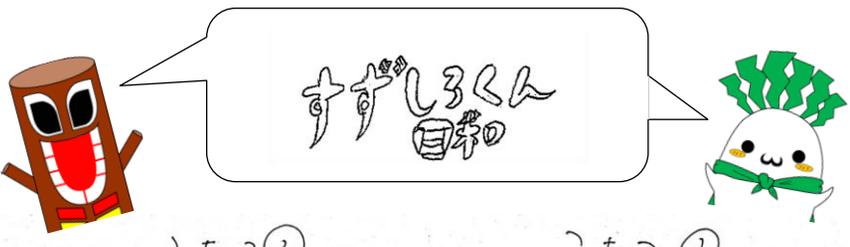
# ☆3年生にインタビュー!!

卒業を控えている3年生に4つのインタビューに答えてもらいました。

- ① 高校生活で楽しかったこと  
修学旅行や文化祭などの学校行事や友達と過ごす何気ない日常が楽しかったと答える人が多かったです。
- ② 高校生活で大変だったこと  
学校までバス通いを頑張った人やバイトを頑張った人、学校行事でリーダーを務めた人、勉強やテストを頑張った人、様々でした。
- ③ 将来どんな大人になりたいですか  
信頼される大人、自分らしく元気な大人、責任感や自律性のある大人など、それぞれが自分のなりたい大人像があって、素敵だなと思いました。
- ④ 同級生に一言  
「ありがとう」という感謝や頑張ろうとお互いを応援するメッセージ、これからもよろしくなどの言葉が多かったです。  
高校生活も残りわずかになりましたが、悔いのないように楽しく過ごしていきたいです。

# ○3年生ABC部引退

2月号をもちまして、ABC部員として、3年間ひるこうタイムズの記事作成に携わっていた、長原結菜さん、井上亜美さんが引退となります。蒜校での出来事や魅力を発信し続けてくれました。また、4コマ漫画「すずしろくん日和」担当の木村海音さんも引退となります。毎月すずしろくんのシニールな漫画を楽しみにしていたので、本当に寂しくなります。3年間お疲れさまでした。ありがとうございました！



# ～1年間の思い出～

